

第1回 「小櫃てらす」全体会議 議事録

日時	2026年8月10日（月）19:00～20:30
場所	小櫃公民館 研修室
出席者	小川（ゲ）、小川（淑）、片倉、平山、齊藤、柴崎、 島津（公民館）、高梨（市民センター）、清水（地域づくり課） 運営委員：藤田、小泉、篠田、小高、安藤（記）
議題	各プロジェクトの進捗共有および今後の活動方針について

1. 開催目的

本会議は、「小櫃てらす」において進行中の各プロジェクトについて、進捗状況を会員全体で共有し、今後の実施内容および運営体制について協議することを目的として開催された。併せて、各プロジェクトへの参画者を増やし、運営委員会のみならず会員全体で活動を推進していく方針を確認した。

2. 代表あいさつおよび全体方針

代表より、「小櫃てらす」の活動は初年度であり、各事業を完成形として進めるのではなく、実施を通じて課題を把握し、次年度以降の活動につなげていくことが重要である旨の説明があった。また、各プロジェクトについて、会員からの意見を踏まえながら内容の充実を図る方針が示された。

3-1. 「たまごフェスタ」について

たまごフェスタについて、9月20日に開催される地区の「ふるさと祭り」会場内で実施する予定であることが報告された。本事業は、小櫃地区の卵を地域内外に周知することを目的とし、卵の販売、卵料理の提供および関連イベントを実施する方向で準備を進める。

- 販売内容は、アローカナ3個・赤玉7個を組み合わせた10個入りパックを想定し、約150パックの販売を目標とする。
- 2パック購入者向けに、数字を引いておまけの個数が決まる販売促進企画を検討している。
- 卵料理として、ゆで卵の食べ比べ、プリン、ワッフル等の提供を予定している。
- 卵のつかみ取りは衛生面を考慮し、実際の卵ではなくピンポン玉等を用い、取れた数に応じて卵を渡す方式を検討する。
- 販売時間は15時から17時を想定し、キッチンカーはそれより長い時間帯での出店が見込まれる。

第1回 「小櫃てらす」全体会議 議事録

準備作業については、9月18日に卵が納品される予定であり、同日18時30分からパック詰め作業を行う案が示された。当日は、販売開始の少なくとも1時間前から会場準備を行う必要があることを確認した。なお、雨天時については、災害等によりふるさと祭りが中止となる場合を除き、実施を前提として準備を進める。

3-2. たまごフェスタに関する協議事項

- 卵のつかみ取りは、容器の入口の形状や大きさによって取れる数が大きく変わるため、事前に試して調整する必要がある。
- 卵を直接つかむ方式は割れや衛生面の課題があるため、ピンポン玉等を使う方式が妥当である。
- 価格設定は、単なる卵の販売価格ではなく、遊びとしての体験価値も含めて考える必要がある。
- 雨予報や荒天時には、納品数や販売数を調整できるか事前に確認しておく必要がある。
- 駅やホームページ等を活用し、会場案内やアクセス情報を周知することで、来場者の増加や地域外への発信につなげられる可能性がある。

4. お芋プロジェクトに関する報告

さつまいもの生育状況について、葉も大きく育っており順調である旨の報告があった。収穫日は10月3日を予定している。収穫前に試し掘りを行い、芋の状態を確認したうえで、必要な道具および当日の作業内容を整理する。

- オーナー参加者は30～35組程度を想定しており、関係者を含めると40人程度の参加が見込まれる。
- 共有畑分の収穫が多い場合は、掘った人にインセンティブを設ける方法も検討する。
- 12月に予定している焼き芋イベント等に向けて、収穫後の保管方法と保管場所を検討する。
- 保管については、米袋や通気性のある袋、コンテナ等の利用が話題となった。
- 必要に応じて、保存方法について専門的な情報を確認し、LINE等で共有する。

焼き芋イベントについては、12月6日に公民館を使用する予定であり、調理室等を活用した内容を検討することとなった。さつまいもの試食に加え、つるを活用したリース作り、芋ばんづくり等、体験型企画についても引き続き検討する。

5. 教育プロジェクトに関する報告

教育プロジェクトについて、毎月実施しているあそんべ食堂を継続し、子どもたちの交流および学びの機会を広げる場として活用していく方針が報告された。

- 8月25日の回では、ふるさと祭りに向けて盆踊りの練習を行う予定である。
- 学校や地域で盆踊りを教える機会が減っているため、地域の人が子どもたちに踊りを伝

第1回 「小櫃てらす」全体会議 議事録

える場として位置づける。

- 11月と2月には、「この人の話を聞こう」という趣旨のプログラムを検討している。
- 11月片倉さん（デザイナー）、2月鈴木さん（移動美容）

6. 農業・食文化プロジェクトに関する報告

農業プロジェクトについて、さつまいも収穫後の畑を活用し、玉ねぎづくりに取り組む計画が報告された。玉ねぎの定植は11月頃を予定し、その前段として10月に「初めての玉ねぎ作り」をテーマとする講義を実施する方向で調整する。

- 講師は西原地区の田中氏に依頼予定である。
- 苗づくりの詳細は講師側の事情により扱わず、玉ねぎ栽培全体の講義を行う予定である。
- 講義後、希望者を対象に実習として玉ねぎを植える企画を検討する。
- 募集規模や参加者1人あたりの植付本数、持ち帰り方法等は今後調整する。
- 2月には、地域の食文化を継承する取り組みとして太巻き寿司講座を開催する案が示された。

7. インフラ・地域医療に関する協議

インフラ分野について、公共交通、福祉、通信、医療等の地域生活基盤の実態把握を行い、必要な整備や改善に向けて検討を進める方針が共有された。初年度は、地域医療の実態把握を目的として、医療に関するアンケートを実施する方向で協議した。

- アンケート項目には、年齢、性別、定期通院の有無、通院先、通院上の困りごと、地域医療への満足度、必要なサービス、診療所の利用状況等を含める。
- 対象は高齢者が中心になる見込みだが、家族内でも立場により意見が異なるため、1世帯1回答に限らず複数回答を得ることが望ましいとの意見があった。
- 通院時の交通手段についても確認することで、車、鉄道、デマンドタクシー等の利用状況を把握できる可能性がある。
- 地域診療所との連携や、必要に応じて専門医療機関へつなぐ仕組みについても意見交換が行われた。

8. 会議運営および今後の体制

今後の全体会議については、定期開催にこだわらず、各プロジェクトの進捗状況およびイベント日程に応じて柔軟に開催する方針を確認した。また、各プロジェクトにチームを設け、各チームのリーダーが運営委員会に参加し、決定事項を各チームで実行していく体制を目指すこととした。

9. その他共有事項

- 小櫃地区周辺の土地利用や企業誘致に関する説明会の情報が共有された。
- 久留里線利用促進関連の団体解散後、駅のイルミネーションや花の管理、駅周辺の活用

第1回 「小櫃てらす」全体会議 議事録

について、地域団体として今後どのように関わるか検討が必要との意見があった。

- SL 保存・活用に関する事例紹介があり、今後の地域資源活用の一案として共有された。

10. 決定事項および確認事項

- たまごフェスタは9月20日のふるさと祭り内で実施予定。
- 卵のパック詰め作業は9月18日18時30分から実施する案で調整する。
- さつまいも収穫日は10月3日を予定。
- 焼き芋イベントは12月6日に公民館を中心に実施予定。
- 玉ねぎ講座は10月、定植実習は11月頃を目途に調整する。
- 地域医療アンケートは項目を精査し、配布方法を今後検討する。
- 次回全体会議は9月29日19時開始を予定し、20時30分終了を目標とする。

11. 今後の対応事項

- 卵フェスタの販売数、価格、つかみ取り方式、景品数の最終調整。
- 卵の保管場所、当日の搬入方法、スタッフ配置、駐車場案内の整理。
- さつまいもの収穫後の保管方法と保管場所の確定。
- 焼き芋イベントの具体的な内容、調理室の使い方、体験企画の検討。
- 玉ねぎ講座・実習の募集方法、参加人数、栽培区画の設定。
- 地域医療アンケートの配布対象、回収方法、交通手段に関する設問の追加検討。
- 各プロジェクトを支えるチーム体制づくりと協力者の募集。